



全国安全週間中の鳥取労働局の行事



全国安全週間（7月1日～7月7日）中、米子市で「鳥取県産業安全衛生大会」開催されたほか、鳥取労働局では、労働局長による建設工事安全パトロールを実施しました。

1 平成30年度(第46回)「鳥取県産業安全衛生大会」の開催

全国安全週間の取組の一環として、去る7月4日(水)「米子市文化ホール」において平成30年度(第46回)鳥取県産業安全衛生大会が開催されました。



式典の冒頭、主催者を代表して竹中鳥取県労働基準協会長が「本日の大会を契機として、安全衛生に対する慣れや過信を一掃し、労使一体となって日々の安全衛生活動を推進し、労働災害撲滅に力を尽くして頂きたい。」と挨拶しました。



主催者挨拶をする竹中鳥取県労働基準協会長



来賓挨拶をする丸山鳥取労働局長

続いて、丸山鳥取労働局長が、鳥取県内の労働災害は増減を繰り返しながら横ばい状態となっており、健康管理については働く人のメンタルヘルス対策が大きな課題となっています。鳥取労働局では第13次労働災害防止推進計画をスタートさせたので、死亡災害の撲滅、労働災害防止やメンタルヘルス対策にも積極的に取り組んでいただくことにより、働く人が安全で、メンタルヘルス不調にならない職場環境の形成について参加者に呼び掛けました。

また、表彰式では、福助株式会社鳥取工場（東伯郡琴浦町）へ鳥取労働局長優良賞、加藤金属興業株式会社鳥取事業所（鳥取市）並びに社会福祉法人いずみの苑（米子市）へ鳥取労働局長奨励賞、及び各労働災害防止団体等から安全衛生や無事故永年勤続者の方々に対する表彰が行われました。

「講演の部」では、株式会社平井組 技術管理部長 野坂修司 氏による「当社の安全管理について」と題した事例発表があり、その後、労働安全衛生総合研究所リスク管理研究センター 上席研究員 大西明宏 氏による「労働現場における転倒災害防止に求められること」と題した特別講演が行われました。

最後に、鳥取労働基準協会西部支部松谷哲也産業安全部会長が大会宣言を読み上げ、参加者全員で労働災害防止を誓い合って、大会を終了しました。

2 鳥取労働局長による建設工事安全パトロールを実施

(1) 日 時：平成30年7月2日（月） 午前10時～

(2) 工事現場：鳥取市新本庁舎新築(建築・庁舎棟)工事

(3) 施工者：東洋^{とうよう}・大和^{だいわ}・やまこう^{やまこう}・懸樋^{かけひ} 特定建設工事共同企業体

(4) 工事概要：地上8階(約35m)、地下1階建ビル新築工事

(5) パトロール結果：

暑さ指数(WBGT)の測定、休憩室の設置や塩あめ備付などの熱中症予防、労働者と建設重機との接触防止のため、単管バリケードを色分けして安全通路の確保や作業範囲の可視化を行うなど、熱中症予防対策、労働災害防止対策が積極的に行われていました。



パトロール中の丸山労働局長